



8/6~7 **15年ぶりの優勝旗**
阿蘇郡市ライオンズ旗中学生野球大会

「阿蘇郡市ライオンズ旗中学生野球大会」が一宮総合グラウンド(阿蘇市)で開催され、南阿蘇中学校(坂梨正文校長)と高森中学校の合同チームが優勝に輝きました。

同大会は、阿蘇郡市の中学校5チームが出場。決勝では、阿蘇中学校と対戦し、7対6のタイブレークで勝利しました。

主将の藤田照英君(2年生)は、「新チームになって初めての公式戦となるライオンズ旗で、平成13年度の日長陽中学校以来、15年ぶりに優勝することができました。今後は、目標としている郡市秋季大会で優勝して、県大会に出場したい」と次の試合に向けて抱負を語りました。



喜びの南阿蘇中学校・高森中学校軟式野球部の皆さん

8/5 **宝くじ助成事業で屋外無線放送設備を整備**
赤瀬区

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、赤瀬区に屋外無線放送設備が整備されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源に、一般財団法人自治総合センターが助成決定を行うもの。

今後は配備された屋外無線放送設備により、赤瀬区からの緊急連絡や、地域情報の共有化が図られ、コミュニティ活動の積極的な取り組みが期待されます。



赤瀬区長の中尾親義さん(左)と整備された屋外無線放送設備(右)

8/23 **おいしいトマトをどうぞ**
JA阿蘇南部トマト部会

JA阿蘇南部トマト部会(部会長 興梠和夫さん 山都町)が、村内3つの保育所にトマトを贈呈しました。

保育所を訪れた部会員から「トマトを食べてこの夏を乗り切ってください」とあいさつされると、「はい」と大きな声で返事をしていました。

贈呈されたのは、肉質がしっかりとした「りんか」。ちょうどよう保育園では、一箱24個入りのトマト5箱が代表の園児に手渡されました。

園児たちは、部会員にお礼を述べたあと、「トマト好き!」とはしゃいでいました。

贈呈されたトマトは、次の日の給食で出されました。



JA阿蘇南部トマト部会の皆さんから代表でトマトを受け取る園児

8/14 **両併から元気を届けます**
両併夏まつり

両併小学校運動場で、地元青壮年部・同婦人部主催の「両併夏まつり」が開催され、お盆で帰省されている人や、家族連れ、夏休み中の子どもたちなどが数多く訪れました。

「両併肥後にわか」、両併小学校児童による「両併にぎやか音頭」、「名水大阿蘇子ども太鼓」などのステージイベントが披露され、会場は盛り上がりました。

露店では、焼き鳥やたこ焼き、ラーメンなどが並び、買い求める来場者で行列ができていました。

今年は、「納涼花火大会」がパワーアップ。空高く打ちあがった花火に歓声が起きていました。

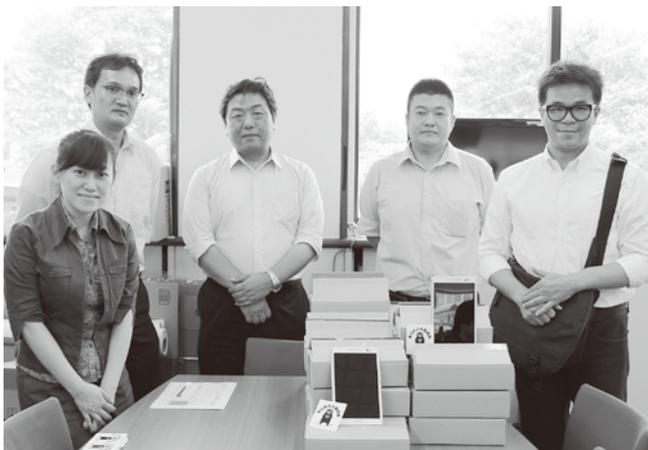


両併小学校の児童で踊った「両併にぎやか音頭」

9/6 消防団の活動に役立ててください ASUS JAPAN

パソコン、スマートフォンなどの周辺機器製造メーカーのASUS JAPAN (台湾) の社員5人が、久木野庁舎を訪れ、平成28年熊本地震の復興支援として、村消防団(中尾博昭団長)に同社製のタブレット「Zen Pad」を30台寄贈しました。

寄贈されたタブレットは、村消防団全18分団と、本部員10人に1台ずつ配布され、今後の消防団活動などに活用される予定で、活躍が期待されます。



ASUS JAPANの社員の皆さんと寄贈されたタブレット

9/5 ミニトマトを食べて大きくなって JA阿蘇白水ミニトマト部会

JA阿蘇白水ミニトマト部会(部会長 後藤光栄さん 白川)の役員3人とJA職員1人が白水保育所を訪れ、ミニトマトを贈呈しました。

贈られたのは、「キャロルクイーン」という品種の3キロ入りのミニトマト3箱。同部会の方から、「ミニトマトは好きですか?」と聞かれると、元気よく「はい!」と返事をして、年中児と年長児が代表でミニトマトを受け取りました。

贈呈されたミニトマトは、園児たちが運動会の練習の後だったため、水分補給に1個ずつ配られ、その後、給食室に運ばれました。



JA阿蘇白水ミニトマト部会の皆さんからミニトマトを受け取る園児たち

9/10 小学校だけの運動会頑張った 村内5小学校運動会

村内5つの小学校(両併・白水・中松・久木野・南阿蘇西)で運動会が開催されました。

久木野小学校(東光洋校長)では、中学校統合で初の小学校単独での開催となり、多くの来賓・保護者が見守る中、元気に全校児童が入場しました。

開会式で東校長が、「この運動会は、第1回と断言している運動会です。目当てを持って優勝を目指してしっかり自分のよさを出してください」と子どもたちを激励しました。

5・6年生の「竹取物語」では、紅白に分かれて竹を引き合う競技が行われ、転んで砂だらけになりながらも必死に引っ張っていました。



紅白に分かれ竹を引き合う5・6年生の子どもたち



開会式ではじめの言葉を述べる1年生(左から)小野寺茉晴君、古澤華蓮さん、今村玲香さん、坂井碧仁君



保護者も参加した「サンバおてもやん♡久木野花盛り音頭」